【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2018-54969(P2018-54969A)
【公開日】平成30年4月5日(2018.4.5)
【年通号数】公開・登録公報2018-013
【出願番号】特願2016-192783(P2016-192783)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｆ　7/30　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　71/02　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　61/14　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/44　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　65/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/033　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｆ　7/30
Ｂ０１Ｄ　71/02
Ｂ０１Ｄ　61/14　５００
Ｃ０２Ｆ　1/44　Ｆ
Ｂ０１Ｄ　65/02
Ｇ０３Ｆ　7/033

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月12日(2018.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
非水溶性ポリマーを含有する感光性樹脂層を有する印刷版材を、水を主成分とする水系現像液を用いて現像することによりレリーフ像を形成する印刷版の現像方法であって、
現像に使用された現像廃液を回収して供給部に戻す循環経路を有し、
前記現像廃液の一部または全部を取り出し、孔径が０．０５～１．０μｍの範囲内であり表面にアルミナ処理が施されているセラミックフィルターを用いて、非水溶性ポリマー濃度が高い高濃度現像液と、濃度が低い低濃度現像液とに分離する分離工程を、前記循環経路の内または外に備え、
前記低濃度現像液を循環経路内に戻すことを特徴とする印刷版の現像方法。
【請求項２】
前記分離工程を、前記循環経路の外に備えることを特徴とする請求項１に記載の印刷版の現像方法。
【請求項３】
前記分離工程が、逆洗可能であることを特徴とする請求項１または２に記載の印刷版の現像方法。
【請求項４】
非水溶性ポリマーを含有する感光性樹脂層を有する印刷版材を、水を主成分とする水系現像液を用いて現像することによりレリーフ像を形成する印刷版の現像装置であって、
水系現像液を用いて印刷版を現像する現像部と、

現像に使用された現像廃液を回収して供給部に戻す循環経路と、

前記循環経路の内または外に設置され、前記現像廃液の一部または全部を取り出し、孔径が０．０５～１．０μｍの範囲内であり表面にアルミナ処理が施されているセラミックフィルターを用いて、非水溶性ポリマー濃度が高い高濃度現像液と、濃度が低い低濃度現像液とに分離する分離部と、

前記低濃度現像液を循環経路内に戻す戻し部とを有することを特徴とする印刷版の現像装置。